

木もれ日

Komorebi Tsushin

第82号

令和4年7月
つきだて花工房発
季刊誌

◎つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

童は見たり野中のバラ
忘れ難きその香り鮮やかに

花を巡る ショートストーリー

確か、その子が転校してきたのは5月に入ってからだった。こんな田舎の小学校で転校生自体が珍しいのに、中途半端な時期に転校してきたのが強く印象に残った。少し栗色がかかった、自然にカールした髪、クリクリとした目の彼女は転校馴れ(?)しているのか、あつという間に学校に馴染んだ。

彼女が学校に馴染んだ頃、ある時、珍しく一人で下校している途中、土手にポツポツとみえる白い花に顔を寄せている彼女の姿が目に入ってきた。近づいている私にも気づかず一心に何かを見つめていた。

「今帰るかい?何してんだい?」

声をかけると、ちよつとびっくりしたように私を見て、

「野バラの匂いを嗅いでるの」とちよつとはにかむように微笑んだ。

「だっていい匂いでしょ」

「ほーかい?」

私も真似をして顔を寄せて嗅いでみる。ちよつとツンとするような華やかな香りがした。なるほど、この時期に土手の近くを通ると香ってくるのは野バラだったのかと得心した。

「ほんとだ。いい匂い」

「うちにあるバラ、見にこない?もつといい匂いがあるよ」

「いい匂い」

彼女と肩を並べて訪れた家の庭には、いくつもの鉢植えが置かれ、それぞれが野バラとは比較にならないほど大きな花をつけていた。果物を思わせる甘い香り、高貴さを感じさせる香り。

5月の強い日差しの名残りの熱気が、バラの香りを一層強くしていた。今まであまりバラに興味のなかった私は、鼻を鳴らしながら花から花へ、夢中になって香りを楽しんだ。

「いい匂いでしょ?」彼女はそんな私を微笑んで見守っていた。

それからしばらくは、私は彼女と一緒に土手の野バラと、彼女の庭のバラを楽しみ日々を過ごした。彼女が突然、消えてしまうまでは。

6月のある月曜日、下校時間を楽しみに登校した私は、彼女が転校していったことを知った。胸にポツカリと穴が開く、というのはこのことか、と思いつつ一日を過ごした。下校途中に通ったいつもの土手の野バラもすっかり花を落として、それでも顔を近づけると、ちよつとツンとするような華やかなあの香りがするよう気がした。

*

「転校生なんてきたことなかったよ」
「うっそ、だって私その子の家に行っただよ」

「そんな半端な時期に転校生なんて来るわけねえべ」

「・・・?」

久しぶりに会った同級生たちとのむかし話、野バラの彼女はまるで存在しなかったかのように、みんなの記憶から消えて去っていた。軽くショックを受けた私はみんなの会話の輪を離れ、一人目を閉じた。ちよつとツンとするような華やかな野バラの香りを思い出しながら。



お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思い出が詰まった
つきだて花工房の宝石箱です



◆月中3-4クラス会様(月館町他)

今年60歳になる方々のクラス会でした。在学当時は5クラスあったと教えていただき、人口流出の激しさに驚きました。始終笑いが絶えない和やかな会食でした。遠くに住む方々も気軽に集まれる日が早く来るといいですね。



◆渡辺家の皆様(梁川町)

お母様の傘寿(80歳)のお祝い会をサプライズで企画され、4世代の方々が集まりました。ケーキやお花のご祝福があり、楽しい時間を過ごされていました。また、お元気なお姿を見せにお越しくださいね。いつまでもお元気で。



◆JAふくしま未来松川女性部金谷川支部様(福島市)

ドライフラワーリースと会食のコースでお越しくださった皆様です。揃ってのお出かけは久しぶりとおっしゃっておられました。それぞれ作られたリースを手にして交流館の前の芝生の上でパチリ!!皆様の笑顔、リースに負けずステキです。



◆あおい学級様(梁川町)

月館の工芸作家「工房ゆあさ」の湯浅寿夫さんのクラフト体験「銅板クラフト」を、花工房の会食セットプランでお楽しみいただきました。銅板に描いた思い思いの言葉やイラストが、腐食剤に漬けるとみるみる浮き出して「うわーすごい」と、何度も歓声が上がりました。銅板に浮かびあがった言葉やイラストと共に、忘れられないひとときになったのでは。



オープン26周年記念 つきだて花工房誕生祭開催!

平成8年8月8日にオープンしたつきだて花工房はこの8月8日で満26年となります。震災やコロナ禍に見舞われながらも、みなさまにご愛顧いただいているおかげで営業を続けられています。そこで、ほんの少しですが「ありがとう」の気持ちを込めて、オトクな企画をご用意しました。

開催日時:8月7日(日)・8日(月)

午前10時~午後6時

- オトク①: 入浴・ランチ・喫茶の利用で花花ポイント3倍!
- オトク②: つきだて花工房 LINE 公式アカウントを友だち追加されている方(当日の友だち追加も大歓迎)にランチ5%OFFのLINEクーポンを進呈!(ご本人様のみ1回限り有効)

人様のみ1回限り有効)

- オトク③: 宿泊された方全員に、乾杯ドリンクとして梅酒の炭酸割りかソフトドリンクをサービス!
- オトク④: 奥の松純米大吟醸、大七生酛梅酒、よなよなエールビールセットをこの2日間だけのスペシャルプライスで販売!奥の松純米大吟醸と大七生酛梅酒をご購入の方には花工房手作り「鯨山椒漬け」を、よなよなエールビールセットご購入の方には「感謝のおつまみ」をサービスいたします。

この機会に、花花ポイントメンバーへのご登録、そしてつきだて花工房LINE公式アカウントを友だち追加して、オトクをGETしてくださいね!

やさしい工房談話 ～だんわ～

ツッキー

わさび

皆さんこんにちは!

早いもので、夏の贈り物の季節がまたやって参りました♪

つきだてやさしい工房では、毎年ご好評頂く月館町の桃をご提案

……

昨年、霜の影響で販売できなかった5kgも今年は復活!!

あかつき、まどか、川中島白桃、ゆうぞら、さちあかね、さくら白桃とおすすめの品種が続々と登場!

8/1より発送開始予定♪ 数に限りがございますのでご予約はお早めに♪

……。「♪」じゃねーわ!!

私の話す際を与えないその饒舌ぶり太したものだ!!

お褒めに預かり_(._.)_

褒めてない!! ところでツッキー、月館町の桃農家さんも6/3の雷で大変だった聞いたよ??

そうですね。雷災害により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

月館町の桃農家さんもただ野菜や、ビニールハウスも穴が空いたりで大変だったみたい。

あの大粒は怖いらいだったよねー。事務局さんもあのサイズは産まれて初めて(44年)って言った。

44年はいらぬのでは……。

桃の贈答品は大丈夫??

大丈夫です!! もちろん数に限りはございますが大丈夫です!!

桃の贈答品は大丈夫。ならそれは事務局さんに紹介してもらおうとして、傷ついた桃の販売は?

つきだてやさしい工房店頭でいつにも増して販売します!!

名付けて「桃や野菜を食べて農家さんを応援!!」大作戦!!

「名付けて」の言い方から、タイトルまで全部ダサイけど内容は良い!!

続けます。

雷の被害で、果皮に傷がついたり、変形したり、少し黒くなったりあるけど味は美味しい!!

そうだよね♪ 少し黒くなった所を取り除いたり、手間は掛かるけど食べたなら美味しいから家庭用とかにね♪

もちろん、そのまま食べても美味しいけど、ちょっと贅沢にジュースや、デザート作りにもおすすめ!

私は、国産のクラフトジン&フレッシュピーチのカクテルなんてお洒落に楽しもうかなー

それ美味しそう!! いま流行りの国産クラフトジンと月館町の桃のコラボ! 話題になるかなー??

きつなりません。300mlのグラスを準備して、ジン45ml、よく洗い種を取った皮付きの桃をミキサーに掛けてグラスに半分、炭酸を注げば出来上がり!! 好みでレモンを少々試してみてください

そして、国産クラフトジン醸造所様ご連絡お待ちしております_(._.)_

あざとい……。最後は、つきだてやさしい工房らしからぬ紹介となりましたが、月館町の桃よろしくお願ひします!

よろしくお願ひします!!

少し長くなった?? 編集の方、必ず全部掲載下さい!

では、また木もれ日通信№83でお会いしましょう!!

Expecting next time!!

読めないしなんかダサイ!! ツッキーはほっといて、暑い日が続きますのでどうぞご自愛ください。

つきだてやさしい工房からのお知らせ

つきだてやさしい工房、夏の贈り物企画～、
こだわりの果実を大切な方へ、～

毎年好評頂く、月館町の桃 贈答品をご紹介します。
今年は5kgも復活しました!!

あかつき、まどか、川中島、ゆうぞらと続く、贈られて嬉しい月館産の桃各種。固くて果汁が多い、甘みが強い、鮮やかな濃紅色、大玉、優しい歯ざわりなどなど特徴は様々ですが、どの品種も自信を持ってオススメします!!

贈答品: 月館産の桃 ●2Kg(約6玉) ¥2,000

●3Kg(約10玉) ¥3,000 ●5kg(約16玉) ¥5,000

※表示価格はすべて税込価格です。

*送料は別途頂戴いたします。

発送開始: 令和4年8月1日より発送を予定(天候等に発送時期に変動が生じます)

お問合せ: つきだて交流館もりもり内つきだてやさしい工房
TEL: 024-571-1777

メールアドレス: yasai@t-hanakobo.jp

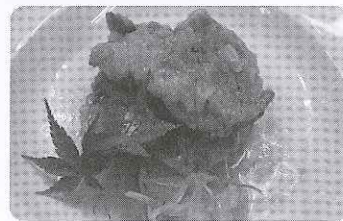
つきだてやさしい工房ホームページは

[<https://tsukidateism.com/>]「つきだてイズム」で検索



季節の一品

鱈の南蛮漬け



ほど良い酸味と、香味野菜の味が美味しい一品。ご飯のおかずにも、お酒のお供にも。

材料(4人分)

- 鱈(切り身) …… 400g
- 玉ねぎ …… 2分の1個
- ミョウガ …… 1パック
- ニンジン …… 4分の1本
- 片栗粉 …… 適量
- 塩 …… 適量

作り方

- ① Aの鱈の切り身に塩を振り、10分おく。出てきた水分をふき取って片栗粉を付け、火が通るまで揚げる。玉ねぎ・ミョウガは薄切りに、ニンジンはせん切りにしておく。
- ② Bの調味料を合わせ、火を入れる。
- ③ ①の揚げた鱈、カットした野菜をタッパーに入れ②を熱いうちにかけて漬け込む。冷めたら冷蔵庫に入れ1晩置く。
- ④ 盛り付けて完成。

※ナスやズッキーニ、パプリカ、いんげんなど夏野菜もお勧めです。
その際は一度素揚げして油をよく切ってから漬けてください。

夏のお膳のご紹介

本格的な夏の訪れとともに、花工房のお膳も地元夏野菜などの豊かな色彩をまとった夏色に衣替えしたのでご紹介いたします。ズッキーニやヤングコーン、パプリカを使用した小鉢や、月館名産の花山葵を使った一品、鱈(スズキ)の白身のふんわり食感と自家製ポン酢の餡をかけた温物など、夏の食材をふんだんに使った料理内容となっています。中でも、伊達鶏の挽肉をふくら焼き上げた、ジューシーな肉汁あふれる鶏のつくねに、トマトと自家製味噌を合わせた特製ソースでお召し上がりいただく「鶏つくねトマトソース」は、オススメの一品です! 脇に添えた切干大根の酢漬けや人参のオリーブオイル和えも良いアクセントとなっています。お料理のグレードアップで、エゴマ豚または福島牛のステーキが付いたコースもございます。暑い日が続きますが、自然豊かな花工房で心と身体を美味しいお料理と共に癒してみは?



日々の暮らしにハーブの香りを～

ハーブ教室・今後の予定

講師: 瀧田 勉先生 (ハーブとスローライフの研究者)

参加費: 1,850円 (材料費・税込)

8月29日「アウトドアとハーブ」ハーブキャンプ飯・ハーブ調味料

9月26日「ハーブで芋煮会」大鍋、大皿、ボリュームな料理に合うハーブ

10月31日「ハロウィンハーブ」いにしへのハーブ・ハーブリース作り

クラシック&バロックコンサート つきだて花工房 花薫る郷音楽会

2022.10.1 Sat.

1回目 13:30開場 / 14:00開演
2回目 18:30開場 / 19:00開演

演奏

ヴァイオリン 福田 貴子
ヴァイオリン 富山 宏基
ヴィオラ 出口 貴子
チェロ 竹林 良
チェンバロ 五十嵐 裕子

花と音楽あふれる世界へ

人々が花や音楽を
笑顔で楽しめるような世界を願い
わたしたちは花を育て
少しでも多くの人々に音楽をお届けします

チケット 大、人 ¥2,000
中高生 ¥1,000
小学生 ¥500
9/3発売

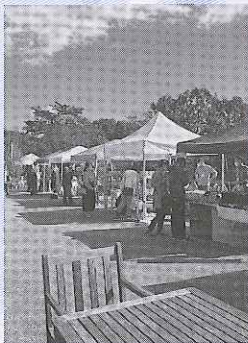
「お気に入り」に出会う
モノ作りびとフェア

飾っておきたくなるような普段遣いの器。作り手のセンスが光るアクセサリー。おでかけのお供にしたいバッグ。工業製品にはない、手作りのぬくもりや、同じように見えても一点一点違う個性。そんな数多くの作品たちとの出会いと作り手との語り合いが楽しいハンドメイド・クラフトイベント「モノ作りびとフェア」がこの秋、2年ぶりに開催されます。

紅葉に包まれる晩秋の花工房で、あなたのお気に入りの一品をぜひ探してみてください。作り手である作家さんたちのおしゃべりの中で、その作品が生まれた「バックストーリー」が聞けたら、作品への愛着が一層深まるかも？

開催日：10月22日(土)・23日(日)
時間：午前10時～午後3時
入場：無料

※新型コロナウイルスの感染状況によって中止となる場合があります。最新の情報はモノ作りびとフェアのホームページ
<https://monozukurihito.com> をご確認ください。



読者プレゼント！

月館の新米3kgを
3名様にプレゼント！



編集後記

季節とともに読み返したくなる本がある。例えば、今の季節なら漱石の「それから」。春の終わりにくから物語は始まり、主人公の心の昂りとともに初夏から梅雨へ。恋慕の成就と引き換えに社会から抛擲される彼は梅雨明けの猛烈な日差しに焼かれるようにして物語は終わる。もう何度も読み返しているのに、私的年中行事と言えるのかも。 〈つきはな〉

● 日々の生活に刺激をと思ふ趣味を持つべく、新たな免許取得に向け動き出そうと考えています。何かに挑戦するという不安と緊張。久々の感覚です。 〈あか〉

● このたびの雹(ひょう)災害により被害を受けた皆様は心よりお見舞い申し上げます。雹被害を受けたられた、やさしい工房の会員さんの為にも私たちは宣伝活動に粉骨砕身邁進します。 〈わざわざ〉

ご応募はキーワード・氏名・郵便番号・住所・電話番号・木もれ日通信82号で印象に残った記事とご感想をお書きの上、ハガキまたはメールで。

〒960-0903 福島県伊達市月館町下手渡字寺窪7つきだて花工房
木もれ日通信読者プレゼント係
【Eメール】flower@hanakobo.jp
タイトルに「木もれ日通信82号読者プレゼント係」とお書き下さい。



「野バラ」
たくさんのご応募、
お待ちしております！

なお、当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。また、いただいた個人情報につきましては花工房が責任を持って管理・保管し、プレゼント及び当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために使用させていただきます。



月の明かりで疲れた心を癒したい。
いますぐカレンダーにチェック!!

【満月の夜】
8月12日(金)
9月10日(土)
10月10日(月)

【新月の夜】
8月27日(土)
9月26日(月)
10月25日(火)

休館日 | 8月23日・9月13日・10月18日

■お断り 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、営業内容を一部変更する場合があります。詳しくはお問合せ下さい。